

## 1. 事業の状況

当公益財団法人は、医学、薬学をはじめとした生物学、物理学、化学、工学等分野における生命科学に関する領域の教育・研究を奨励し、もって我が国の医療及び国民の保健の向上に寄与することを目的としておりますが、2022年度は次の事業を実施しました。

### (1) 研究に対する助成として

**8件**に対し計**2,950千円**を助成した。(表1参照)

### (2) 研究者の国際交流(研究者の海外派遣)に対する助成として

**1件**に**150千円**を助成した。(表2参照)

(海外研究者の招聘)の応募はなかった(表3参照)

### (3) 講演会・シンポジウム等の開催に対する助成として

**2件**に対し計**900千円**を助成した。(表4と表5参照)

表1：2022年度助成事業（第39回）、研究助成

No.	所属機関・教室		氏名・職位	研究テーマ	助成額 (千円)
1	富山大学 学術研究部医学系 脳神経外科学	教授	黒田 敏60(歳)	RNF213遺伝子多型マウスの開発によるもやもや病の発症メカニズムの解明	650
2	富山大学 学術研究部薬学・和漢系 薬化学	助教	大石 雄基 33(歳)	がん細胞選択的ロタキサン型増感剤デリバリーシステムの開発	550
3	富山大学 学術研究部薬学・和漢系 病態制御薬理学	教授	笹岡 利安 61(歳)	視床下部オレキシンを介した運動と活動性の促進による非アルコール性脂肪肝炎と肝癌の新規治療法開発	450
4	富山大学 学術研究部医学系 分子神経科学	特命助教	田端 彩子 (今井)53(歳)	痛み刺激の発生を担う皮膚-感覚神経接続メカニズムの解明	300
5	富山大学 学術研究部薬学・和漢系 分子合成化学	助教	笠間 健吾 28(歳)	低毒性ビスマス触媒カップリング反応の開発とビアリアル化合物の包括的合成	300
6	富山大学 学術研究部工学系 知能情報工学コース	助教	大村 眞朗 29(歳)	血液粘弾性の非侵襲超音波イメージングに向けた血液性状制御法の開発	300
7	富山大学 学術研究部医学系 生化学	特命助教	浅井 裕貴 35(歳)	高次脳機能を担う情報処理メカニズムの解明 ～機能的神経細胞集団形成におけるクラスター型プロトカドヘリンの関与～	200
8	富山大学 学術研究部薬学・和漢系 分子細胞機能学	教授	宗 孝紀 53(歳)	T細胞に発現するTNF受容体の補助刺激シグナルを活性化する分子の創成	200
				研究助成応募案件 23件の内、助成採択件数 8件	2,950

表2：2022年度助成事業（第39回）、研究者海外派遣助成

No.	所属機関・教室		氏名・職位	研究テーマ	助成額 (千円)
	富山大学 学術研究部医学系 (医学部) 老年看護学	助教	青木 頼子 45(歳)	①会議の名称：22' Society for Medical Decision Making 44th ANNUAL NORTH AMERICAN MEETING ②開催期間：2022年10月23日～2022年10月26日 ③開催場所：Hyatt Regency Seattle ④総費用額： ⑤その他：日本学術振興会 科学研究費 補助金 助成金額416万円 2019-2022 採択済 ⑥事務局コメント：過去実績なし	150
				研究者海外派遣助成応募案件 1件で 1件を助成採択	150

表3：2022年度助成事業（第39回）、海外研究者招聘助成

No	氏名・職位	所属機関・教室	研究テーマ	助成額 (千円)
			海外派遣助成応募 計0件	0

表4：2022年度助成事業（第39回）、講演会・シンポジウム等開催助成

No.	所属機関・教室		氏名・職位	研究テーマ	助成額 (千円)
1	富山大学 学術研究部薬学・和漢系 (薬学部) 薬物生理学	薬学部長	酒井 秀紀 59(歳)	①会議の名称：2023年度富山大学薬学部ならびに 医学薬学教育部 特別講義 ②開催期間：2022年9月1日～2023年8月31日 ③開催場所：富山大学杉谷キャンパス ④総費用額：1,000千円 ⑤その他：他機関からの助成なし ⑥事務局コメント：*参加資格：学生・教官、*規模学内(60名)、 *毎年の継続事業	750
2	富山大学 学術研究部薬学・和漢系 (和漢医薬学総合研究所) 天然物創薬学領域	教授	森田 洋行 47(歳)	①会議の名称：第9回食品薬学シンポジウム ②開催期間：2022年10月15日～2022年10月16日 ③開催場所：富山県バレープラザ高志会館 ④総費用額：1,000千円 ⑤その他：他機関の助成なし ⑥事務局コメント：*参加資格 オープン *過去実績あり	150
				学会・シンポジウム開催応募 計3件の内、2件を助成採択	900

表 5. 2022 年度 富山大学薬学部 特別講義「薬学経済」の日程と講師・演題

日程	2022年度講師氏名 (学部・卒業回数)	所属	タイトル名	区分	講義方式
4/15 (金)	稲田裕彦(薬72回生) 1985年卒	救急薬品工業株式会社 代表取締役社長 薬窓会 会長	中小製薬企業のおかれた環境と事業展開 ～異分野融合からのイノベーションの必要性～	総論：製薬企業の 経営	対面式
4/22 (金)	13:00～ 五十里 彰(薬81回生) 1994年卒	岐阜薬科大学 副学長 兼 教授	アカデミア研究者の魅力と課題	創業開発 (大学)	対面式
4/22 (金)	13:45～ 蛭田健司数学科44回生 1996年卒	株式会社AKALI代表取締役	創業・医療分野におけるデジタル技術の活用と キャリアの築き方	創業、新技術、 キャリア	対面
5/6 (金)	中島彰俊 富山医科薬科大医学部 1999年卒	富山大学学術研究部医学系産科婦 人科学講座 教授	芍薬甘草湯による医師主導治験について	第2相試験	対面式
5/13 (金)	清原宏真 (PMDA)	(独法)医薬品医療機器総合機構 新薬審査第五部 PMDA新薬第5部長	「新薬審査を中心に」	行政・PMDA	対面式
5/20 (金)	13:00～ 高瀬明子(薬85回生) 1998年卒	MSD株式会社 グローバル研究開発本部 クリニカルリサーチ領域 感染症領域 アソシエイトクリニカルディレクター	製薬会社での臨床開発の仕事	臨床開発	WEB
5/20 (金)	13:45～ 山田 弘(薬第72回生) 1985年卒	Nibiohn*、トキシコゲノミクス・イン フォマティクスプロジェクト プロジェクトリーダー	ジョブ型雇用移行への流れが止まらない、研究職に とってはチャンス？～外資系製薬企業日米仏研究所で の経験から考える～	キャリア、 基礎・応用研究	対面式
5/27 (金)	13:00～ 中西類子(薬92回生) 2005年卒	ポーラ化成工業株式会社 製品設計開発部エビデンスセンター 副主任研究員	化粧品会社での研究開発 (化粧品・健康食品)	研究開発	対面
5/27 (金)	13:45～ 井家益和(薬71回生) 1984年卒	株式会社ジャパン・ティッシュ・エン 지니어リング 執行役員 研究開発部長	世界を牽引する日本の再生医療産業の現状と展望 ～バイオベンチャーはピカ新への近道～	再生医療 (開発プロセス全 般)	対面式
6/3 (金)	13:00～ 森 貴大(薬97回生) 2010年卒	小野薬品工業株式会社 研究本部 ニューロロジー研究センター 研究提 携課	新薬メーカーにおける創薬研究、 オープンイノベーションの推進 ～患者さんのために～	新薬研究 (創薬)	WEB
6/3 (金)	13:45～ 福地 守(薬88回生) 2001年卒	高崎健康福祉大学・薬学部・教授	(仮) 研究者であり教育者である大学教員のお仕事	創業開発 (標的物質探索)	対面式
6/10 (金)	13:00～ 藤井拓人(薬91回生) 2004年卒	富山大学 薬学・和漢系 薬物生理学研究	アカデミア研究者として輝くために ～大学で研究者として生きていく	基礎研究 (大学教員)	対面式
6/10 (金)	13:45～ 横山怜示(薬95回生) 2008年卒	塩野義製薬株式会社 経営戦略本部 経営企画部	製剤研究から全社経営企画の仕事へ	製剤化研究、 キャリア	WEB
6/17 (金)	高木和則 (PMDA)	(独法)医薬品医療機器総合機構 医薬品品質管理部 品質管理第二課	医薬品と薬事規制～最近の事例を踏まえて～	行政・PMDA	対面式
6/24 (金)	13:00～ 大石雄基2011年3月卒 2016年3月	富山大学学術研究部 薬学・和漢系 助教	大学助教の研究活動	薬学基礎研究 (大学)	対面式
6/24 (金)	13:45～ 小林正史(薬60回生) 1973年卒	株式会社リニカル 経営企画室 担当部長 (元 藤沢薬品工業(株) 医学調査部)	医薬品開発業務受託機関(CRO)、治験施設支援機関 (SMO) および新薬開発の最新動向と展望	臨床試験受託機 関、治験受託・臨 床研究受託	対面式
7/1 (金)	13:00～ 齋藤みのり(薬77回生) 1990年卒	サイトリック株式会社 代表取締役社長	新薬創出における0から1、1から100の仕事(仮 称)	研究、ガバメント アフェアーズ	対面式
7/1 (金)	13:45～ 佐々木秀樹(薬67回生) 1980年卒	元 日本新薬株式会社 小田原総合製剤工場執行役員 工場長	CMC研究 (分析研究, 製剤研究, 生産技術研究, 薬物動態研究)	分析・製剤・動 態・ 生産技術研究	対面式
7/8 (金)	13:00～ 宮下正也(薬105回生) 2018年卒	北海道庁	(仮) 地方公務員としての薬事行政	行政・都道府県	WEB
7/8 (金)	13:45～ 水島昌徳(理物43回生) 1990年卒	株式会社オーギャ 代表取締役	センサーベンチャー事例紹介	創業・経営	対面式
7/15 (金)	13:00～ 石原 健太郎(第90回生) 2003年卒	富士フィルム富山化学株式会社 生産技術部プロセスグループ マネージャー	医薬品製造における生産技術職及び 当社の新事業展開について (DDS製剤への挑戦)	生産技術 バイオ医薬	対面式
7/15 (金)	13:45～ 宮本憲優(理生33回生) 1985年卒	エーザイ株式会社 筑波研究所 高度 バイオシグナル安全性評価部 主幹研 究員	微小電極アレイシステムを用いた薬物誘発リスク評価 法の開発及びiPS細胞技術を用いた世界規制動向	医薬品に関する基 礎研究/承認申請 のための非臨床試 験	対面
7/22 (金)	高木繁雄 富山商工会議所会頭	富山市商工会議所会頭 北陸銀行特別参与	日本・北陸経済の将来展望～グローバル化・少子高齢 化・新型コロナ禍の中 どう立ち向かうか～	経済	対面式
7/29 (金)	最終日：学生発表会および講師とのディスカッション (上記講師他、飯田晋一郎(48回生)元三菱ウエルファーマ社長、中西憲幸元エーザイ取締役、安居輝人Nibiohnグループマネージャー)				

\* Nibiohn: 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所